

介護施設相談員等の業務および交流会に関するアンケート結果

アンケート依頼件数	56ヶ所	(特養・37か所、老健・19ヶ所)
回答件数	30ヶ所	(特養・20ヶ所、老健・10ヶ所)
(回答者数)		(特養・51人、老健・25人)
回答率	54%	

設問1

あなたの施設の種類をお伺します。

① 老人福祉施設	20ヶ所
② 老人保健施設	10ヶ所
③ その他	なし

設問2

利用定員をお伺します。

<老人福祉施設>

入 所	最少29名、最大120名
短期入所	1名～12名および空床利用
通 所	最少12名、最大45名
(通所事業を行っている場合)	

☆回答のあった20箇所の内7箇所で通所介護実施。

<老人保健施設>

入 所	最少40名、最大148名
短期入所	1名～5名および空床利用
通 所	最少20名、最大60名
(通所事業を行っている場合)	

☆回答のあった10箇所の内7箇所で通所リハビリを実施。

設問3

あなたの職種をお伺します。

① 相談員	特養16名	老健11名	計27名
② 介護支援専門員	特養11名	老健7名	計22名
③ その他 ()			
④ 兼務 (具体的に:)	特養24名	老健7名	計31名

☆兼務が多いものの、相談員・介護支援専門員専任で業務を行っている方も多い。

兼務では、老健は相談員とCMが一番多く、特養は相談員・CM・介護職員・事務員など多様な職を兼務している方が多く見られる。

設問4

あなたの所属する部署の職員数をお伺します。

(相談員あるいはケアマネが所属する部署)

正職員	名	特養 61名	老健 36名	計 97名
契約職員等常勤職員	名	特養 4名	老健 1名	計 5名
非常勤職員	名	特養 6名	老健 0名	計 6名

☆ 問い方が悪く、兼務されている方はそれぞれの部署の人数を計上しているため正確な人数の把握が来なかった。

設問5

あなたが所持している資格をお伺します。

① 社会福祉士	特養 13名	老健 8名	計 21名
② 社会福祉主事	特養 25名	老健 7名	計 32名
③ 精神保健福祉士	特養 1名	老健 1名	計 2名
④ 介護福祉士	特養 40名	老健 14名	計 54名
⑤ 介護支援専門員	特養 37名	老健 15名	計 52名
⑥ 主任介護支援専門員	特養 1名	老健 2名	計 3名
⑦ その他	特養 0名	老健 3名	計 3名

☆ 相談業務・CM業務を行っている方は複数の資格を所持されている方が多い。
介護福祉士＋介護支援専門員が一番多く見られる。

設問6

あなたの業務の内容をお伺します。

A. 入所相談	特養 32名	老健 15名	計 47名
B. 短期入所相談	特養 25名	老健 12名	計 37名
C. 通所利用相談	特養 1名	老健 6名	計 7名
D. 入所・短期利用調整	特養 28名	老健 14名	計 42名
E. 通所利用調整	特養 0名	老健 5名	計 5名
F. ケアプラン作成	特養 35名	老健 16名	計 51名
G. 通所リハビリテーション計画書作成	特養 2名	老健 2名	計 4名
I. 家族との連絡調整	特養 44名	老健 23名	計 67名
J. 入所者・利用者からの相談対応	特養 43名	老健 22名	計 65名
K. 医療機関との受診調整	特養 20名	老健 11名	計 31名
L. レセプト請求関係	特養 16名	老健 1名	計 17名
M. 入所・短期入所送迎	特養 44名	老健 11名	計 55名
N. 他科受診送迎	特養 29名	老健 7名	計 36名
O. 苦情対応	特養 34名	老健 15名	計 51名
P. 地域との交流	特養 25名	老健 7名	計 32名
Q. 入所者の金銭管理	特養 19名	老健 5名	計 24名
R. 施設行事企画	特養 26名	老健 4名	計 30名
S. 賠償事故対応	特養 7名	老健 3名	計 10名
T. ボランティア対応	特養 29名	老健 4名	計 33名
V. ホームページ関係	特養 6名	老健 2名	計 8名
W. 広報誌作成	特養 8名	老健 3名	計 11名
X. その他	特養 7名	老健 2名	計 9名

☆ 相談員・CM業務のほか多種多様な業務を行っている。通所関係は老健のみが業務を行っており
特養はほとんど入所と通所が分離しているようである。

設問7

業務を行う上で改善（向上）させたいと考えているものをお伺します。

① 施設内他職種との連携	特養 40 名	老健 14 名	計 54 名
② 他機関との連携（CM・官公庁・医療機関等）	特養 18 名	老健 13 名	計 31 名
③ 利用者ご本人との関係	特養 23 名	老健 12 名	計 35 名
④ 利用者ご家族との関係	特養 30 名	老健 13 名	計 43 名
⑤ 事務作業の効率化	特養 18 名	老健 12 名	計 30 名
⑥ ケアプランの作成	特養 27 名	老健 7 名	計 34 名
⑦ 時間外勤務の削減	特養 6 名	老健 7 名	計 13 名
⑧ 入所調整（空床対策等）	特養 17 名	老健 7 名	計 24 名
⑨ 相談員とケアマネの業務分担	特養 10 名	老健 7 名	計 17 名
⑩ 業務実施体制（人員等）	特養 10 名	老健 4 名	計 14 名
⑪ その他	特養 2 名	老健 名	計 2 名

☆ 全体的に改善させたいと考えていることが伺えるが、中でも施設内連携を上げる方が多く、多くの施設で連携の難しさを感じているようである。

設問8

相談業務を行う上で困難事例が生じた場合の相談先をお伺します。

① 同一部署の他の相談員	特養 37 名	老健 17 名	計 54 名
② 同一施設内の他職種	特養 38 名	老健 20 名	計 58 名
③ 他施設の相談員・ケアマネ	特養 12 名	老健 5 名	計 17 名
④ 包括支援センター	特養 5 名	老健 8 名	計 13 名
⑤ ④以外の行政機関等	特養 8 名	老健 4 名	計 12 名
⑥ 特に相談はしない	特養 名	老健 1 名	計 1 名
⑦ その他	特養 2 名	老健 1 名	計 3 名

☆ 設問7とは裏腹に、施設内他職種に相談するとの回答が多いが、必要に迫られればこのような結果になることも想定できる。

設問9

下記の実施方法についてお伺します。

- ① ご家族や地域との交流を行っている施設ではどのような進め方をしておりますか。
（開催時期や場所・内容など）

・施設行事がある際に、家族や地域住民（町内会等）を招いて交流を行う。
・年数回近くの飲食店で外食行事を行っている。
・刊行物により施設の様子をお知らせしている。
・地域交流開催（町内会・老人クラブ等）時における施設スペースの貸し出し。
・施設の大広場を利用し、地域の独居老人を招き定期的に食事会を開催。
・ご家族同士で結成した「家族会」があり、大掃除を手伝って頂いたりスタッフと懇談会を開催しています。
・地域のボランティア組織により夏祭り等には100名以上のご協力を頂いた。
・施設で育てた野菜を秋に収穫し、家族と一緒に調理して食べたりするお祭りをやっている。
・町内会等地域と合同で行事（果物狩りや焼肉、盆踊りなど）を行っている。
・定期的に担当介護職員からご家族に利用者様の近況を手紙でお知らせしている。

☆ 交流方法については、同じような内容で当施設でも実施しているものがあるが、他施設は開催頻度が高く、また、家族や地域と一緒にを行う行事が多いようである。

- ② ボランティアの受け入れをどのように行っていますか。

(募集の方法、有償無償、ボランティアの内容、頻度・時間等について)

・月1～2回日程調整を行い無償でお願いしている。(保育所・幼稚園・楽器演奏グループ等。)
・職員の伝手を利用。
・施設の広報誌を利用して募集している。
・有償ボランティアをお願いしている。
・施設職員OBや地元の介護学校にボランティアをお願いしている。
・募集等は特にしていない、外部からの要望に応える形で実施。
・社協が行っているボランティアセンターに登録し、月1回ボランティア団体に来訪いただいている。
・民生委員や障害をもっておられる方々にボランティアをして頂いている。
・当施設を定年退職された方の組織があり、施設行事の手伝いをして頂いている。
・ボランティア団体へ案内文・電話等で募集している。

☆ 地域によってボランティアの活動量に差があるが、固定化した団体へお願いしているところが多く無償のところが多い。内容的には大体同じようなもの。
施設職員OBが組織的に行っているところがあり感心させられるが、ボランティア組織は自発的なものと考え、各になる人物がいなければ組織を作るのは難しいと思われる。

設問10

あなたの地域において相談員やケアマネの交流や研修会等が行われていますか。

① 行政主催の交流会等に参加している	特養 16 名	老健 9 名	計 25 名
② 近隣施設(他法人)との交流会を行っている	特養 9 名	老健 7 名	計 16 名
③ 北海道や保健所、介護施設協会等が主催の研修会に参加している	特養 25 名	老健 11 名	計 36 名
④ その他	特養 10 名	老健 3 名	計 13 名

☆ それぞれ何かしらの研修会・勉強会等には参加しており、近隣施設独自のグループもあるようである。

設問11

交流会(意見交換・情報交換会等)を企画した場合の参加意向をお伺います。

① 参加してみたい	特養 28 名	老健 12 名	計 40 名
② 参加したいとは思わない	特養 名	老健 1 名	計 1 名
③ 現時点では何とも言えない	特養 18 名	老健 11 名	計 29 名

交流会に関してご意見があればお願いいたします。

・他の施設で行っている取り組みを知ることができるので良い機会であると思う。
・計画書作成などについて情報交換したい。
・困難事例の事例検討等が行えると嬉しい。
・立地的問題で集まりに参加するのが難しい。
・単なる交流会では意味がない、テーマを絞ったものであれば有意義だと思う。
・福祉系研修でよく見られるグループワーク的なものであればあえて集まる必要性は無いのでは。
・勉強会や会合が多く時間が取れないと思う。
・参加したくても施設でOKが出ない場合があるようである。法人を通した案内の方が参加しやすいと思われる。
・空知は広域なので場所や時間の配慮が必要。あまり範囲を広げると収拾が付かなくなる可能性がある。

☆ 交流会を企画した場合、参加したいと考えている方のほうが多く、また、現時点では何とも言え

ないと答えた方の中にも参加したい意向はあるが、諸事情により参加が難しい方も多い。
開催について今後協議したいが、時期や会場の問題もあり新年度に向けた検討課題としたい。

設問 1 2

他の施設の状況について確認してみたいことがあればご記入をお願いします。

・ 待機者の入所順位の決め方。（老）
・ 通所リハビリでの相談員の仕事の内容。（一日の流れ等。）（老）
・ 家族対応。（容貌の多い家族等。）（老）
・ 相談員の業務内容等。（老）
・ 在宅強化型老健を考えている施設があれば情報が欲しい。（老）
・ ケアマネ業務の担当件数および兼務状況。（老）
・ 認知症状が強い方の対応。（特）
・ 看取りについて。
・ 他職種との連携。
・ 夜間待機について。
・ 職員の定着について。

☆ 日頃業務を行う上で頻繁に考えるが、他施設の状況が良く判らない事項がほとんどと思われる。
交流会を開催することで直ぐ得られる情報が多い。

ご協力ありがとうございました。